

墨田区のお知らせ2014.4.21 NO.1744 (毎月1日・11日・21日発行)

すみだ

2つの矩形が寄り添うシンボルは、墨田区在住・在勤者、企業やNPOなどと、区および区職員との協働・協治を表すものです。

- 2面以降の主な内容
- 2面…すみだの力応援基金
- 3・4面…講座・教室・催し・募集

すみだと全国の旬間歳時記

●おぼろ月

春の夜空に浮かぶ、柔らかくほのかにかすむ月のこと。霧や薄雲に包まれて月が見える状態で、月の周りにぼんやりとした輪がかかることもある。なお、おぼろとは、ぼうっとしてはっきりせず、ぼんやりとかすんでいる様子を表す。

発行：墨田区(広報広聴担当) 公5608-1111代表 〒130-8640墨田区吾妻橋一丁目23番20号

<http://www.city.sumida.lg.jp/>

向島の歴史・文化の奥深さを感じてみませんか シリーズ 探訪・向島

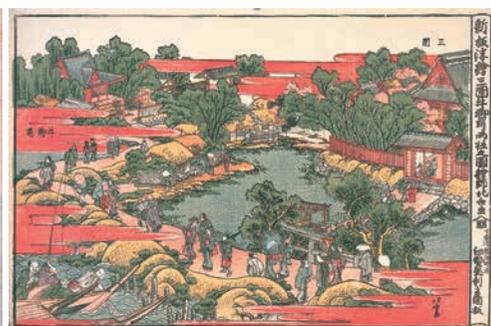
すみだ北部の向島地域は、古くは平安時代から人々に親しまれてきた、歴史・文化資源に恵まれた地域です。区では、この向島の魅力をより多くの方に知っていただくため、「シリーズ 探訪・向島」と題した年間特別企画事業等を行います。この機会に、向島の歴史・文化の魅力に触れてみてはいかがでしょうか。

向島の歴史・文化に迫る 年間特別企画事業を開催

すみだ北部の向島地域は、平安時代には和歌に詠まれる地として人々に広く知られるようになりました。そして、江戸時代以降には神社仏閣や庭園巡り、花見等が楽しめる都市近郊の行楽地として、人々に親しま

れてきました。今も残る歴史・文化資源の数々は、行楽地として人気を博していた当時の向島地域の姿を今に伝えています。

区では、こうした向島の魅力をより多くの方に知ってもらうため、向島をテーマとした展示を行う年間特別企画事業や、すみだ地域学セミナーなどを開催し、向島の歴史・文



歌川広重や葛飾北斎をはじめ、数多くの絵師が向島地域を描いた作品を残しています。
【左】二代広重画「東都名所年中行事 八月 向島花屋敷秋の花ぞの」
【右】葛飾北斎画「新板浮絵 三囲牛御前両社之図」

化の奥深さを様々な角度から掘り下げて紹介していきます。ぜひ、ご期待ください。

【問合せ】すみだ郷土文化資料館
△5619-7034 *すみだ地域学セミナーについては本紙2面を参照

すみだ郷土文化資料館の
年間特別企画第一弾!

シリーズ 探訪・向島「企画展 向島・今昔ものがたり “江戸人の愛した行楽地”」

江戸の人々に愛されていたかつての向島地域の姿を、錦絵など数多くの資料から読み解き、紹介する企画展です。ぜひ、お越しください。

【とき】4月26日(土)～7月6日(日)午前9時～午後5時 *入館は午後4時半までです。 *毎週月曜日・毎月第4火曜日(祝日のときは翌日)は休館です。**【ところ】**すみだ郷土文化資料館(向島2-3

-5) **【入館料】**▶個人=100円 ▶20人以上の団体=80円 *中学生以下と、身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方は無料です。**【申込み】**期間中、直接会場へ **【問合せ】**すみだ郷土文化資料館 △5619-7034 *展示作品は変更となる場合があります。

今後の展示にもご期待ください

今後も様々なテーマで展示を行い、向島の歴史・文化の魅力を余すことなく紹介していきます。

ぜひ、ご期待ください。

■「すみだ粋の世界・向島の職人」展
【とき】7月中旬～9月中旬

■「向島の近世“将軍家と御鷹場”」展
【とき】9月下旬～11月下旬

■「向島の古代・中世“和歌と紀行文に描かれた隅田川”」展
【とき】10月中旬～平成27年1月中旬

■「向島七福神」展
【とき】12月中旬～27年2月上旬

“すぐに行ける” 都市近郊の癒やしの場

右図は、江戸時代後期の作品で、中央を横切っているのが隅田川、右下が向島地域です。上方の江戸市街や左下の本所地域に比べ、緑豊かな地域だったことがわかります。都市部に暮らす人々にとって、すぐ近くに広がる向島地域の風光明媚な風景は、心の癒やしとなっていたことでしょう。



二代広重画「江戸名所一覽双六」(一部)

全国に名を馳せた一大行楽地

神社仏閣を巡ったり、庭園で草花を愛でたり、団子や桜餅などのお菓子を舌鼓を打ったりと、様々な楽しみ方があった向島地域。全国的にも有名な一大行楽地でした。



英泉画「江都三囲稲荷之前堤之景」



二代広重画「江戸名勝図会 木母寺」

雪見の名所・向島

現代よりも降雪量が多かった江戸時代には、雪見も庶民の娯楽の一つでした。雪に覆われた向島地域や、屋形船を出して雪景色を楽しむ人々の姿が数多く錦絵に描かれていることから、当時は、雪見の人气が高かったことがうかがえます。



国芳画「隅田川筏渡り図」(一部)

注)展示名は変更となる場合があります。